

管理者権限の確認方法

はじめに

TKC システムをご利用いただくには、下記の 3 つの作業について管理者権限を有するユーザーアカウントで作業を行う必要があります。

※対象のTKCシステムやご利用のPC環境によって、必要になる作業は異なります。

1. ミドルウェアのインストール

.NET Framework や SQLServer のインストールなどです。

管理者権限を有するユーザーアカウントでインストール作業が必須で、システムをご利用いただく各PCで最初に一度のみ必要な作業となります。

2. システムの事前準備

TKC共通ファイルの登録や配付ツールの登録(Webメニューをご利用の場合)などです。

管理者権限を有するユーザーアカウントでインストール作業が必須で、システムをご利用いただく各PCで最初に一度のみ必要な作業となります。

3. システムのインストール

ISO(DVD)からインストールする場合は、システムインストール(更新)の度に、管理者権限を有するユーザーで作業が必須です。

Webメニューでインストールする場合は、管理者権限は不要です。

(普段ご利用のユーザーアカウントでインストールの作業が行えます。)

通常ご利用いただいているユーザーアカウントは、管理者権限のない標準(制限)ユーザー(=ユーザー権限の Users に属している)での運用が一般的です。標準ユーザーはPCの構成や設定の変更ができない弱い権限となるため、システムのインストールは行えません。

※標準ユーザーでインストールを行う場合、インストール時にユーザーアカウント制御のダイアログボックスが表示され、管理者アカウントのIDやパスワードを入力することで、管理者特権を有効にしてインストールすることが可能です。

そのため、システムのインストールで管理者権限のある作業が必要な場合は、貴社のシステム管理者の方にご相談いただき、管理者権限のあるユーザーアカウントをご準備いただく必要があります。

当手順書では、システムのインストールで必要となる管理者権限の説明、利用中のユーザーアカウントの管理者権限の有無の確認方法、及び管理者権限のあるローカルアカウントの確認・作成方法を説明します。

目 次

I	システムのインストールで必要となる管理者権限の説明.....	1
	【ご参考】「Administratos」グループ以外に「Users」グループに所属している影響..	2
	【ご参考】ビルトインアカウントの「Administrator」を有効化する方法.....	2
	【ご参考】「TKCシステムの管理者」と「管理者権限」の違い.....	4
II	利用中のユーザーアカウントの管理者権限の有無の確認方法.....	5
	1. 利用中のユーザー名の確認方法.....	5
	2. 管理者権限の確認方法.....	7
III	管理者権限のあるローカルアカウントの確認方法.....	8
IV	管理者権限のあるローカルアカウントの追加方法.....	11

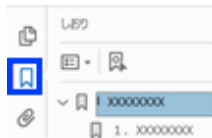
【ご参考】PDFのナビゲーション(しおり)の表示方法

1. Acrobat Reader の場合

(1) F4 キーを押下して「ナビゲーションパネル」を表示します。

(2) 「しおり」ボタン(下記赤枠)をクリックし、しおりを表示します。

(※)しおりが設定されていない場合、「しおり」ボタンは表示されません。

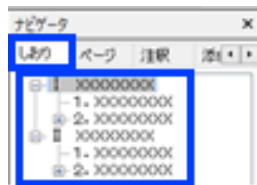


2. SkyPDF Viewer の場合

(1) メニューの「表示(V)」>「ナビゲーター(N)」をクリックします。

(2) 「しおり」タブを選択します。

(※)しおりが設定されていない場合、「しおり」タブには何も表示されません。



I システムのインストールで必要となる管理者権限の説明

システム(※)のインストールは、PC の構成や設定を自由に変更できる強い権限(=管理者権限)が一般的に必要です。

(※)ミドルウェアの登録(.NET Framework や SQL Server の登録)、システムの事前準備(配付ツールの登録やTKC共通ファイルの登録)、SkyPDF の登録、及びシステムのインストールなどです。

一般的に管理者権限を有するユーザーとは、Administrators グループに所属しているユーザーをいいます。

セキュリティ製品の影響に次いで、権限不足が原因でシステムのインストールに失敗することが多いため、インストール作業をより確実に行っていただくために、TKCシステムのインストールでは [Administrator グループのみに属するローカルアカウントでの作業を推奨](#) します。(※1) (※2) (※3)

(※1)ドメインアカウントの場合、管理者権限があってもグループポリシーなどで権限が一部制限されていることが原因で、インストールに失敗するケースがあります。

このため、管理者権限のあるドメインアカウントでインストールが失敗する場合は、管理者権限のあるローカルアカウントで作業を行ってください。

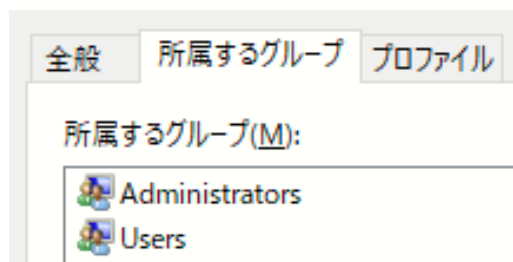
(※2) 管理者権限のある当該ユーザーが「Administrators」以外のグループ(Users 等)にも属している場合でインストールに失敗する場合は、「Administrators」グループのみに属しているローカルアカウントでインストールがうまくいくか確認してください。

(※3)上記(※1)や(※2)の対応でもインストール時にエラーが発生する場合で、権限の問題かどうか切り分けるためには、最強権限のビルトインアカウントの「administrator」を有効にし、当該ビルトインアカウントでインストールがうまくいくか確認してください。

【ご参考】「Administrators」グループ以外に「Users」グループに所属している影響

「Administrators」グループに所属して管理者権限がある場合でも、セキュリティの設定状況次第では「Users」グループの権限の影響を受ける可能性があります。

そのため、「Administrators」グループのみ所属しているローカルユーザーアカウントのご利用を推奨します。

user01のプロパティ

※「user01」は「Administrators」と「Users」の両方のグループに所属しています。

【ご参考】ビルトインアカウントの「Administrator」を有効化する方法

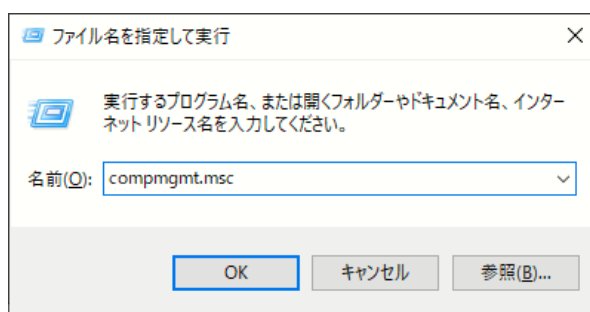
※デフォルトで無効になっているため、利用するには有効化が必要です。

※貴社のセキュリティポリシーに抵触する可能性があるので、「administrator」の有効化については、貴社のシステム管理者の方にご相談ください。

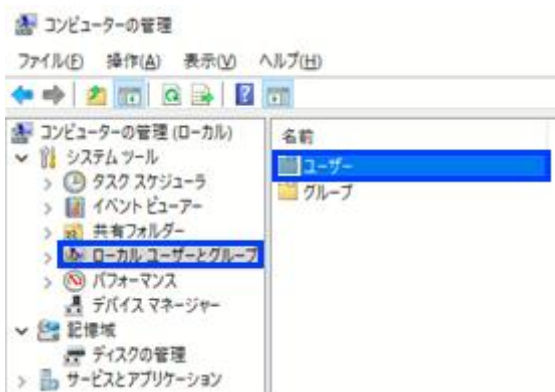
1. 「Windows キー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。

※Windows キーは、キーボード左下の Windows の窓マークのキーです。

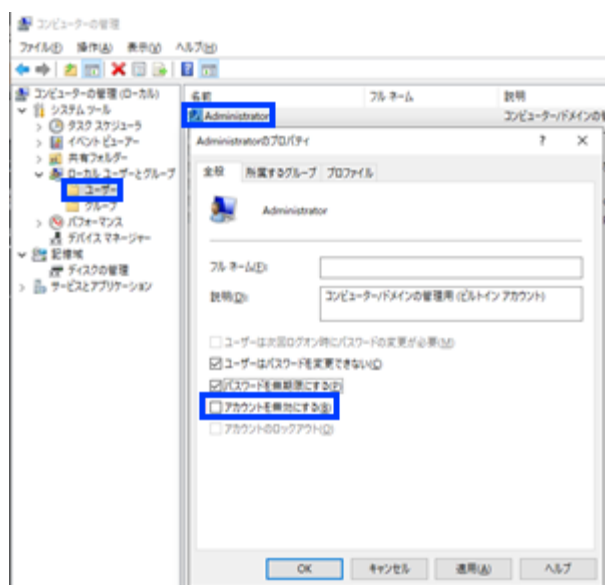
2. 名前欄に「compmgmt.msc」と入力します。（「r」は入力不要です。）



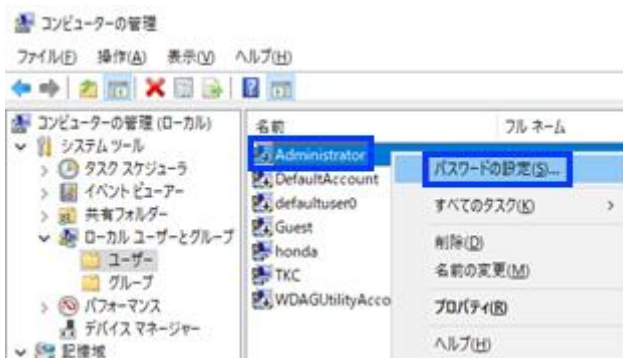
3. 「コンピュータの管理」が開くので、左ペインの「ローカルユーザーとグループ」をクリックし、右ペインの「ユーザー」をダブルクリックします。



4. 「Administrator」の行をダブルクリックし、プロパティ画面で「アカウントを無効にする」のチェックを外します。



5. パスワードの設定は「Administrator」の行を右クリックから「パスワードの設定」で行えます。



【ご参考】「TKCシステムの管理者」と「管理者権限」の違い

管理者権限とよく間違えやすいのが「TKCシステムの管理者」です。

「TKCシステムの管理者」は、あくまでTKCシステムで利用するユーザーIDに対して、運用管理システム(システム管理)を利用できる権限があるかどうかであり、システムのインストール時に必要な Windows の管理者権限とは全く関係がありません。

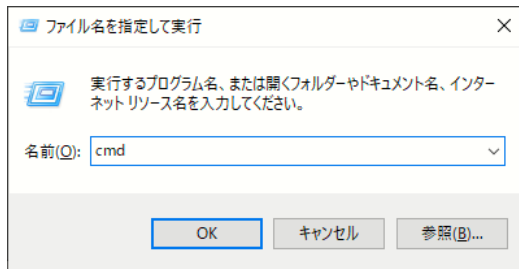
II 利用中のユーザーアカウントの管理者権限の有無の確認方法

1. 利用中のユーザー名の確認方法

(1) 「Windows キー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。

※ Windows キーは、キーボード左下の Windows の窓マークのキーです。

(2) 名前欄に「cmd」と入力します。(「」はご入力不要です。)



(3) 「コマンドプロンプト」が開くので、「whoami」と入力して Enter キーを押下してください。(「」は入力不要です。)

上記方法で利用中の「ユーザー名」を確認します。

① 「コンピュータ名¥ユーザー名」と表示される場合

ローカルアカウントとなります。

下記の例では、コンピュータ名「SamplePC」に登録されているユーザー名「user01」のローカルアカウントです。

```
C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.17763.914]
(c) 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\user01>whoami
SamplePC\user01
コンピュータ名 ユーザ名
```

【ご参考】コンピュータ名の確認方法

コマンドプロンプトで「hostname」と入力します。

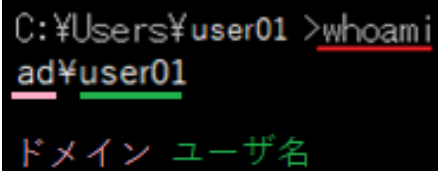
下記の例では PC 名が「SamplePC」となります。

```
C:\Users\user01>hostname
SamplePC
コンピュータ名
```

② 「ドメイン名¥ユーザー名」と表示される場合

ドメインアカウントとなります。

下記の例では、ドメイン名「ad」に登録されているユーザー名「user01」のドメインアカウントとなります。



```
C:\Users\user01 >whoami
ad\user01
ドメイン ユーザー名
```

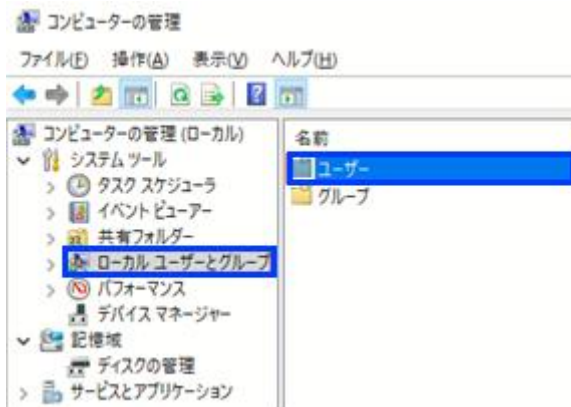
2. 管理者権限の確認方法

(1) 「Windows キー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。

※ Windows キーは、キーボード左下の Windows の窓マークのキーです。

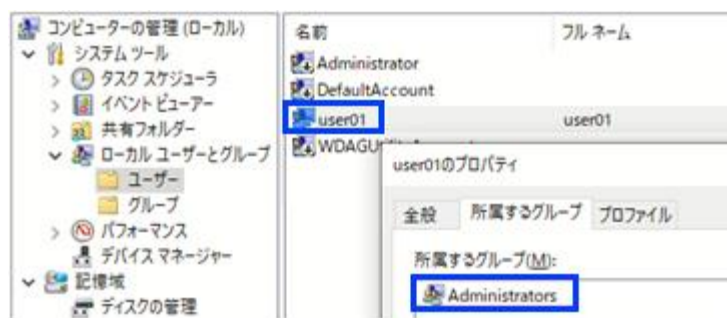
(2) 名前欄に「compmgmt.msc」と入力します。(「r」はご入力不要です。)

(3) 「コンピュータの管理」が開くので、左ペインの「ローカルユーザーとグループ」をクリックし、右ペインの「ユーザー」をダブルクリックします。



(4) 上記1で確認したユーザー名(アカウント名)の行をダブルクリックします。

(5) 当該ユーザーのプロパティ画面が表示されるので、「所属するグループ」タブをクリックし、「所属するグループ」欄に「Administrators」が表示されているユーザーが「管理者権限」のあるユーザーとなります。



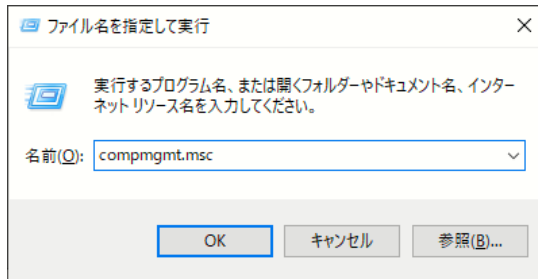
(6) ご利用のユーザーが「Administrators」に所属する場合は、当該ユーザーでインストール作業を行ってください。

Ⅲ 管理者権限のあるローカルアカウントの確認方法

(1) 「Windows キー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。

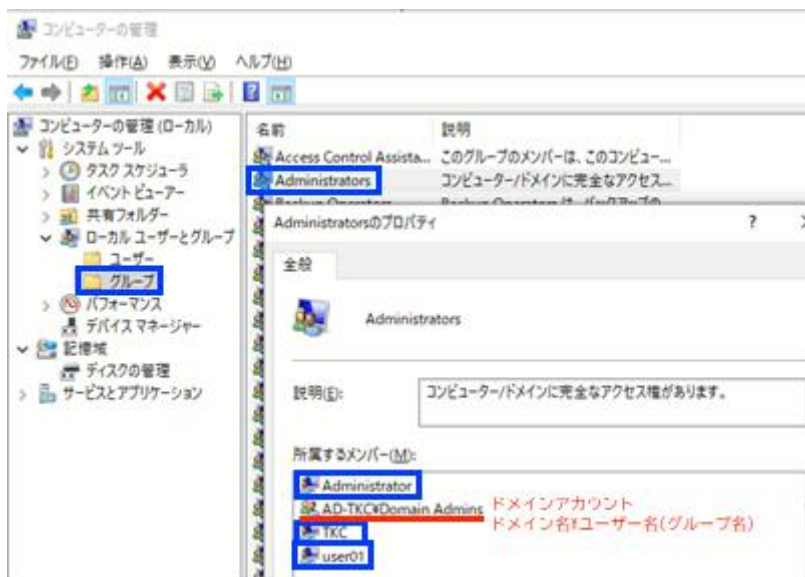
※Windows キーは、キーボード左下の Windows の窓マークのキーです。

(2) 名前欄に「compmgmt.msc」と入力します。(「」は入力不要です。)



(3) 「コンピュータの管理」画面で左ペインの「ローカルユーザーとグループ」の「グループ」をクリックし、右ペインの「Administrators」をダブルクリックします。

(4) 「所属するメンバー」欄のユーザー(アカウント)が、「Administrators」グループに所属する管理者権限のあるメンバーとなります。

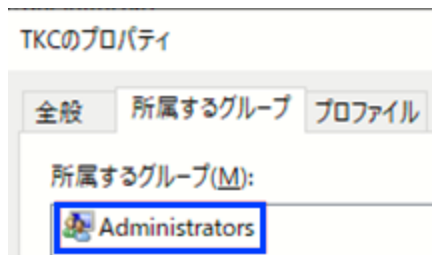


(5) このメンバーの中で「Administrators」のみ所属しているユーザー(アカウント)が下記の方法で確認します。

例としてユーザー名が「TKC」の所属するグループを確認します。

① 画面で確認する方法

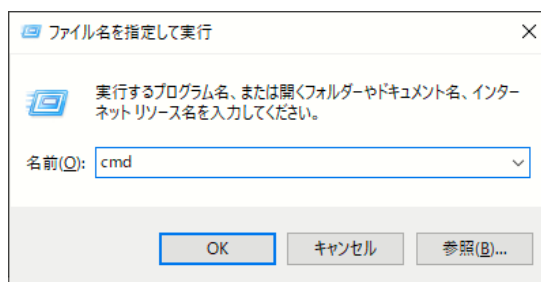
- 1) 上記2. (3)～(5)の方法で、「TKC」の所属するグループを確認します。
- 2) 所属グループは「Administrators」のみであるため、当該 TKC は管理者権限のあるローカルアカウントとして利用可能です。



※ご自身で管理されていないローカルアカウントの場合、どのローカルアカウントを利用してよいかについては、システム管理者の方にご相談ください。

② コマンドで確認する方法

- 1) 「Windows キー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。
※Windows キーは、キーボード左下の Windows の窓マークのキーです。
- 2) 名前欄に「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを起動します。(「r」は入力不要です。)



- 3) 「net localgroup administrators」と入力して Enter キーを押下します。
(「r」は入力不要です。)
- 4) メンバーの一覧で表示されるユーザーの中からローカルアカウントを確認します。
※「ユーザ名」だけがローカルアカウントで、「ドメイン名¥ユーザ名」がドメインアカウントです。
(下記の例では「Administrator」「TKC」「user01」が Administrators グループに属するローカルアカウントで、「AD-TKC¥Domain Admins」はドメインアカウントです。)

```

C:\Windows\system32\cmd.exe

C:\Users\>net localgroup administrators
エイリアス名      administrators
コメント          コンピューター/ドメインに完全なアクセス権があります。
メンバー

-----
Administrator
AD-TKC\Domain Admins
TKC
user01
コマンドは正常に終了しました。

```

- 5)例として「TKC」の所属するグループを調べます。
- 6)「net user TKC」と入力して Enter キーを押下します。(「」は入力不要です。)
- 7)「所属しているローカルグループ」で「Administrators」のみとなっていることから、当該 TKC は管理者権限のあるローカルアカウントとして利用可能です。

```

C:\Users\>net user TKC
ユーザー名      TKC
フル ネーム      TKC
コメント          【自分で作成】 localのadministrator
ユーザーのコメント
国/地域番号      000 (システム既定)
アカウント有効    Yes
アカウントの期限  無期限
最終パスワード変更日時  2017/03/29 12:03:44
パスワード有効期間  無期限
パスワード次回変更可能日時  2017/03/30 12:03:44
パスワードあり    No
ユーザーによるパスワード変更可能  Yes
ログオン可能なワークステーション  すべて
ログオン スクリプト
ユーザー プロファイル
ホーム ディレクトリ
最終ログオン日時  2018/10/02 14:45:53
ログオン可能時間  すべて
所属しているローカル グループ  *Administrators
所属しているグローバル グループ  *なし
コマンドは正常に終了しました。

```

- (6)他のユーザーも同様に確認します。
- また、どのユーザーを利用してよいかは、貴社のシステム管理者の方にご相談ください。

IV 管理者権限のあるローカルアカウントの追加方法

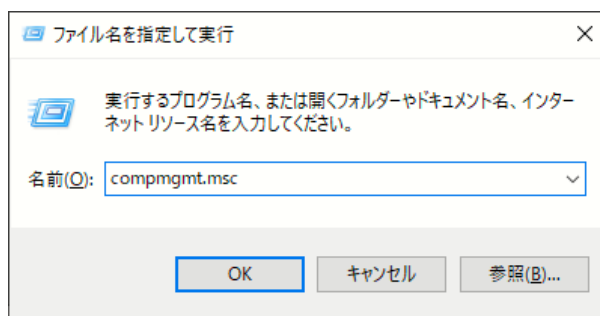
管理者権限のあるローカルアカウントが登録されていない場合や、インストール用に新たに管理者権限のあるローカルアカウントを新規作成する場合は下記の手順となります。

なお、ユーザーを登録してよいかどうかは、貴社のシステム管理者の方にご相談ください。

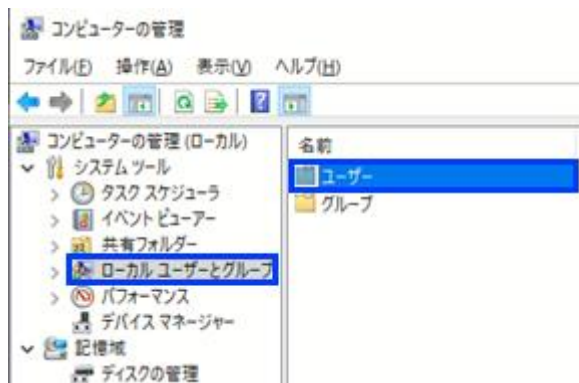
1. 「Windows キー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。

※Windows キーは、キーボード左下の Windows の窓マークのキーです。

2. 名前欄に「compmgmt.msc」と入力します。（「」ご入力不要です。）



3. 「コンピュータの管理」が開くので、左ペインの「ローカルユーザーとグループ」をクリックし、右ペインの「ユーザー」をダブルクリックします。



4. ユーザー名やパスワードを設定します。

※貴社のセキュリティポリシーにより、パスワードポリシーの制限や、各区分の設定を変更できないようにされている可能性があるため、登録内容は貴社のシステム管理者の方にご相談ください。

新しいユーザー

ユーザー名(U): InstAdmin

フルネーム(F):

説明(D): インストール用の管理者権限のあるユーザ

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

☐ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)

☐ ユーザーはパスワードを変更できない(S)

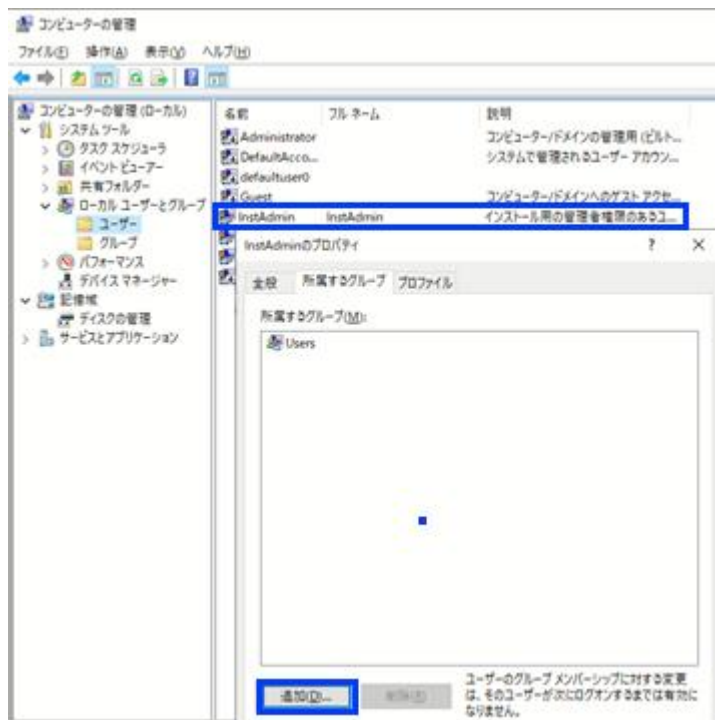
☐ パスワードを無期限にする(W)

☐ アカウントを無効にする(B)

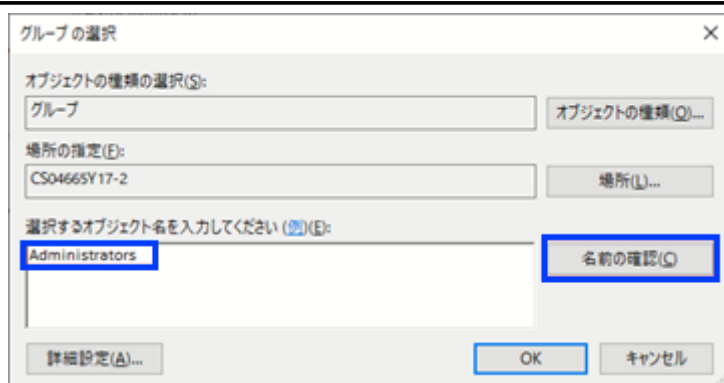
ヘルプ(H) 作成(E) 閉じる(O)

5. 登録した当該ユーザーの行をダブルクリックし、プロパティ画面を表示します。

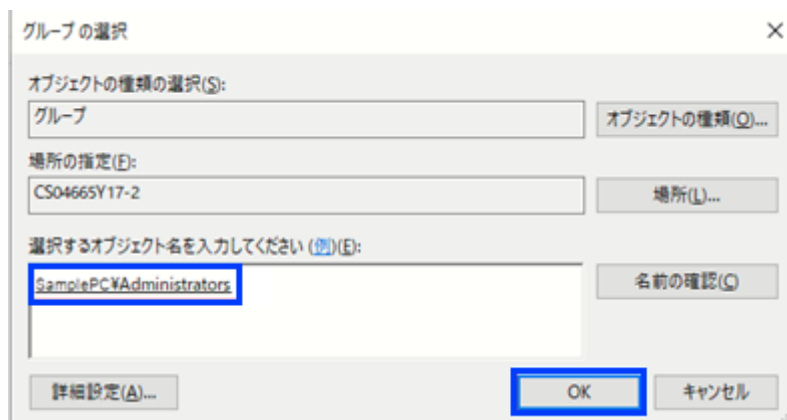
6. 「所属するグループ」タブをクリックし、「追加」ボタンを押下します。



7. 「グループの選択」画面が表示されるので、「選択するオブジェクト名を入力してください」欄に「Administrators」(「」は入力不要)と入力し、「名前の確認」ボタンを押下します。

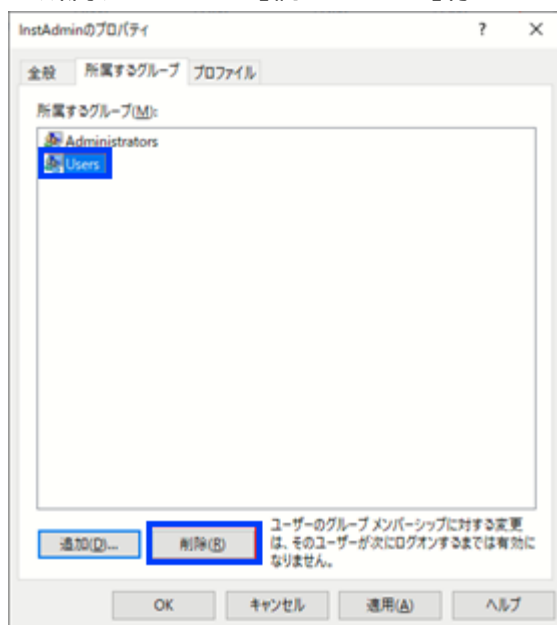


8. 「コンピュータ名¥Administrators」となり下線が付くので「OK」ボタンを押下します。



9. 「所属するグループ」欄に「Administrators」が表示されたことを確認します。

10. 「所属するグループ」欄の「Users」行をクリックし、「削除」ボタンを押下します。



11.「所属するグループ」欄に「Administrators」のみ表示されることを確認します。

以 上